

グラインド

10年を経て完成した
ストームライダーの一つの完成形

ブランド設立当初から掲げていたコンセプトを継承しつつ、積み重ねて得た経験もフィードバックしたストームライダーの集大成とも言えるモデル。見やすいだけでなく防塵性やレンズの保護性など細かい機能を多数搭載。メガネメーカーならではの掛けやすさとコストパフォーマンスは多くのアングラーにとって最良のセレクトになるはずだ。

●カーブ:4 ●価格:1万7600円(税込)



SR-020P-1

●フレーム:シャイニーブラック×マットブラック/マッドブラウンエンブレム
●レンズ:テンダーグレー

サイトイメージ



レンズカラー:テンダーグレー



レンズカラー:テンダーブラウン



レンズカラー:G-15A



レンズカラー:スレートグレー



光学的に優れたフレーム比率になっており、デザイン的にも無駄のないフロントの設計。



フレームに突起を設けることで置いたときにレンズが当たらないようになっている。



遮光性・防塵性ともに優れるビッグシェードを採用。



多くのアングラーの頭にフィットするノーマルカーブで、ホールド感もアップ。

10年の節目にリリースする ストームライダーの集大成モデル

偏光
グラス



SR-020P-2

●フレーム:テンダーグレーシャイニーブラック×マットブラック/マッドブラウンエンブレム ●レンズ:テンダーブラウン



SR-020P-3

●フレーム:マットパールブラック×シャイニーブラック/オリブエンブレム ●レンズ:G-15A



SR-020P-4

●フレーム:マットパールブラック×シャイニーブラック/オリブエンブレム ●レンズ:スレートグレー

多くの笑顔と
釣果を与えてきた
ストームライダーの信念

2013年にスタートしたストームライダーは今年10周年を迎えた。以前はハイエンドモデルとエントリーモデルの二極化しかなかった偏光グラス市場。そこで、手に取りやすい価格と高い品質を備えた中価格帯のモデルを模索したのがストームライダーだ。ハイエンドはいろいろなレンズを選べるが、エントリーモデルはレンズの種類を選べないというものが多かったが、ストームライダーは多くのレンズカラーをラインナップ。状況による色の使い分けをこの価格で味わせることで、多くのアングラーに支持された。

フレームに関してはメガネメーカーのノウハウを活かして、メガネ同様の掛け心地を求めてサンングラスを作っていた。メガネの設計で作ることで軽さや耐久性を追求し、そしてリーズナブルというのがストームライダーだ。

ストームライダー10周年、通算20作目の集大成モデルがグラインドだ。歴代のストームライダーのコンセプトを踏襲し、これまでの基本設計を盛り込んだ良いとこ取りのアイテムだ。フレームの隙間をなくすシェードパーツを大きくしたり、レンズの傷を防ぐためにフレームに突起を設置。カラーも落ち着いたシックなものをチョイスし、飽きがこず長く使えるモデルだ。鼻当てのパーツにはチタンを使用し、メガネと同様の掛け心地を提供。4カーブで度入りにも対応し、普段からメガネのアングラーでも違和感なくかけることができるようになっていく。